

公益社団法人日本演奏連盟

平成24年度事業報告書

自：平成24（2012）年4月 1日

至：平成25（2013）年3月 31日

I 公益目的事業

1 演奏家の育成事業（育成）

（1）新進演奏家育成プロジェクト（文化庁委託事業）

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁と日本演奏連盟の共催事業で、平成24年度においては下記に掲げる4つのプロジェクトを実施した。

＝文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

①「リサイタル・シリーズ」の開催

（平成24年度 札幌2回、東京10回、名古屋2回、京都2回、大阪4回計20回）

全国主要5都市で、厳正なオーディションにより優秀な若手演奏家を選抜し、リサイタル・デビューの場を提供した。

- ・「リサイタル・シリーズTOKYO」 東京文化会館小ホール
 - #11 平成24年4月14日（土）伊東 陽ピアノ・リサイタル
 - #12 平成24年5月27日（日）志鷹美紗ピアノ・リサイタル
 - #13 平成24年6月17日（日）高島敦子ソプラノ・リサイタル
 - #14 平成24年7月7日（土）土橋礼佳ピアノ・リサイタル
 - #15 平成24年9月9日（日）増本竜士フルート・リサイタル
 - #16 平成24年10月24日（水）仁上亜希子ピアノ・リサイタル
 - #17 平成24年11月17日（土）西岡あかねフルート・リサイタル
 - #18 平成24年12月24日（月）箱崎由衣クラリネット・リサイタル
 - #19 平成25年1月12日（土）佐藤寛子メゾソプラノ・リサイタル
 - #20 平成25年2月3日（日）高橋 梓ヴィオラ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズOSAKA」 大阪いずみホール 協賛：いずみホール
 - #5 平成24年5月17日（木）奥田なな子チェロ・リサイタル
 - #6 平成24年6月22日（金）古瀬まきをソプラノ・リサイタル
 - #7 平成24年10月19日（金）大淵雅子ピアノ・リサイタル
 - #8 平成24年11月30日（金）宋 和純ピアノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズSAPPORO」 札幌コンサートホール Kitara 小ホール
 - #3 平成25年1月19日（土）山田陽子ピアノ・リサイタル
 - #4 平成25年3月15日（金）松井亜樹ソプラノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズNAGOYA」 名古屋ザ・コンサートホール（電気文化会館）
 - #3 平成25年1月25日（金）野口真由ピアノ・リサイタル
 - #4 平成25年2月15日（金）玉田裕人ピアノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズKYOTO」 京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ
 - #2 平成25年2月14日（木）後藤真利子ピアノ・リサイタル
 - #3 平成25年2月28日（木）東山洗雅ピアノ・リサイタル

②「オーケストラ・シリーズ」の開催（6回）

地域の音楽振興と新人演奏家の発掘・紹介を目的とした演奏会で、全国6地区で地元のプロ・オーケストラの協力を得て開催した。各地域の音楽大学、音楽団体、教育者等の推薦を受けた多数の応募者を厳正なオーディションにより選抜し、合格者にオーケストラと協演する機会を与えるという新人演奏家にとっては得難い発表の場となった。

- ・第7回 札幌地区 平成25年2月12日（火）札幌コンサートホールKitara大ホール
演奏：札幌交響楽団 指揮：円光寺雅彦
出演：村上祥子（Vn）、藤本志帆（Pf）、安田哲平（Ten）、猿渡 輔（Vc）
共催：（公財）札幌交響楽団／北海道新聞社
協賛：（公財）道銀文化財団
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会
- ・第8回 福岡地区 平成25年2月14日（木）福岡銀行本店大ホール
演奏：九州交響楽団 指揮：金 洪才
出演：緒方愛子（Vn）、金谷めぐみ（Sop）、貴島有紀（F1）、原田洋輔（Ob）、坂本 彩（Pf）
共催：（財）九州交響楽団
- ・第9回 名古屋地区 平成25年2月19日（火）愛知県芸術劇場コンサートホール
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：竹本泰蔵
出演：岩崎花保（F1）、高橋奈緒（Vn）、加藤 佑（Fg）、神原 綾（Sop）、岩間智美（Pf）
共催：（公財）名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第10回 大阪地区 平成25年2月22日（金）ザ・シンフォニーホール
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：現田茂夫
出演：吉村結実（Ob）、有馬圭亮（Pf）、奥田なな子（Vc）、江頭佳奈（Vn）
共催：（公財）日本センチュリー交響楽団
後援：朝日放送（株）
- ・第11回 仙台地区 平成25年3月8日（金）仙台市青年文化センター・コンサートホール
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛
出演：佐藤由紀（Cl）、山口綾華（Eup）、金 宇浩（Tub）、稲村洋之（Pf）、二瓶真悠（Vn）
共催：（公財）仙台フィルハーモニー管弦楽団
- ・第12回 広島地区 平成25年3月12日（火）アステールプラザ大ホール
演奏：広島交響楽団 指揮：小田野宏之
出演：藤井陽子（F1）、大野内 愛（Sop）、村上織恵（F1）、中川詩歩（Sop）
前田悠貴（Sax）
共催：（公社）広島交響楽協会
後援：中国新聞社

③「新進芸術家海外研修員によるスペシャル・ワールド・コンサート」の開催（1回）

日本演奏連盟は、文化庁新進芸術家海外研修制度の協力団体として優秀な新進演奏家が海外で研鑽する機会に協力してきた。

スペシャル・ワールド・コンサートは23年度に続く事業で、海外研修を終えた新進演奏家を一堂に集め、それぞれが自己の研究の成果を披露し、互いに切磋琢磨しあうことで、今後の活動につなげることを目的として実施している。24年度は5名4組の研修生が東京文化会館小ホールのステージに出演した。

- ・平成 25 年 3 月 9 日（土） 東京文化会館小ホール
出演：若木麻有（Ob）、小口真奈（Pf）、黒田なるみ（Sop）、石井里乃（Pf）、
藍川理映子（Vn）

④「ガブリエツラ・トゥッチ 声楽家のための公開マスタークラス」

国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、明日の音楽界を担う若い人材を育成することを目的に実施している事業。平成 24 年度は世界の歌劇場で 80 以上のオペラのタイトルロールを演じたソプラノ歌手ガブリエツラ・トゥッチ氏をローマから招聘し、声楽家のための公開マスタークラスを計 4 回開催した。

- ・平成 24 年 12 月 10 日（月）大阪／ザ・フェニックスホール
- ・平成 24 年 12 月 11 日（火）東京／サントリーホールブルーローズ
- ・平成 24 年 12 月 12 日（水）東京／サントリーホールブルーローズ
- ・平成 24 年 12 月 14 日（金）札幌／札幌市教育文化会館小ホール

(2) 文化庁新進芸術家海外研修制度の協力＜平成 25 年度派遣対象＞

文化庁の依頼により、新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行なった。当連盟の受付者数、内定者数は次のとおり。

派遣期間	日演連受付者数	3月末日演連 受付分内定者
1年派遣（200～350日）	23名	6名
2年派遣（700日）	1名	1名
3年派遣（1,050日）	2名	—
特別派遣（80日）	1名	1名
高校生派遣	2名	—
計	29名	8名

2 音楽普及活動（自主公演）

(1) 「2013 都民芸術フェスティバル」の主催公演

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは、東京都が助成する恒例の祭事で、新春を彩る行事として今年で 45 回を迎えた。24 年度は広範な芸術ジャンルの中から 11 部門、83 公演が実施されたが、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を開催した。

①オペラ（3 団体 8 公演）

- ・水野修孝作曲（泉鏡花原作）「天守物語」（公財）日本オペラ振興会・＜直接事業＞
日本オペラ協会公演 平成 25 年 2 月 2 日（土）、3 日（日）
新国立劇場中劇場
- ・ヴェルディ作曲「仮面舞踏会」（公財）日本オペラ振興会・＜直接事業＞
藤原歌劇団公演 平成 25 年 2 月 10 日（日）、11 日（月・祝）
東京文化会館大ホール
- ・J・シュトラウス作曲オペレッタ「こうもり」（公財）東京二期会・＜直接事業＞
東京二期会オペラ劇場公演 平成 25 年 2 月 20 日（水）～24 日（日）
東京文化会館大ホール

②オーケストラ（8 団体 8 公演） 東京芸術劇場コンサートホール

- ・平成 25 年 1 月 15 日（火）演奏：読売日本交響楽団

指揮：外山雄三 ピアノ：小川典子

・平成 25 年 1 月 30 日（水）演奏：日本フィルハーモニー交響楽団

指揮：アレクサンドル・ラザレフ ピアノ：後藤正孝

・平成 25 年 2 月 1 日（金）演奏：東京交響楽団

指揮：大友直人 チェロ：堤 剛

・平成 25 年 2 月 21 日（木）演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指揮：飯守泰次郎 ヴァイオリン：前橋汀子

・平成 25 年 2 月 27 日（水）演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団

指揮：井上道義 ピアノ：イリヤ・ラシュコフスキー

・平成 25 年 3 月 7 日（木）演奏：NHK交響楽団

指揮：ディエゴ・マテウス ヴァイオリン：ギル・シャハム

・平成 25 年 3 月 13 日（水）演奏：東京都交響楽団

指揮：高関 健 ピアノ：小山実稚恵 ソプラノ：森 麻季 アルト：菅有実子

テノール：中鉢 聡 バリトン：福島明也 合唱：東響コーラス

・平成 25 年 3 月 22 日（金）演奏：東京フィルハーモニー交響楽団

指揮：川瀬賢太郎 ピアノ：島田彩乃

③室内楽等（3 団体 3 公演） 東京文化会館小ホール

・平成 25 年 1 月 8 日（火）「ふるさとに寄せて」

ソプラノ：釜洞祐子 アルト：城守 香 テノール：小宮一浩

バリトン：原田 圭 朗読・ピアノ：塚田佳男

・平成 25 年 1 月 24 日（木）「ピアノ・トリオの夕べ」

ピアノ：小菅 優 ヴァイオリン：大谷康子 チェロ：宮田 大

・平成 25 年 3 月 5 日（火）「室内楽の夕べ」

チェロ：岡本侑也 ピアノ：清水和音

(2) 「日本演奏連盟第 24 回クラシックフェスティバル」の実施

＝助成：公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団＝

＝助成：公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション＝

会員の協力を得て開催する恒例の演奏会。24 年度は「PIANO×PIANO」と題して、ピアノ・デュオを中心に、連弾、2 台 8 手、そしてソロとピアノ音楽特集とした。

・平成 24 年 4 月 19 日（木）東京文化会館大ホール

PIANO×PIANO

ピアノデュオ・ドゥール藤井隆史&白水芳枝、伊藤 恵、北村朋幹、

デュオ・グレイス高橋多佳子&宮谷理香、迫 昭嘉、江口 玲、寺田悦子、

渡邊規久雄、清水和音

3 調査研究及び権利擁護活動（調査、資料収集）

(1) 「演奏年鑑 2013 音楽資料（通巻第 39 号）」の刊行

＝文化庁委託事業「平成 24 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

B 5 判 590 頁 1,700 部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

(2) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B 5 判 8 頁建 3,800 部 会員及び関係団体等に無料配布。

(3) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN を構成する団体の一員として、演奏家の

著作隣接権報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行なった。また、MPNに設置したクラシック委員会（日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟）の中心となってクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2010年度徴収分のクラシック部門の個人分配作業を行なった。

2010年度徴収分…550件 43,543,788円

(4) 芸術家会議の活動

芸術家会議は全国の43の文化芸術創造団体に構成する組織で、会員団体はオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、伝統芸能など幅広いジャンルから構成されている。当連盟はその事務局を務め、設立以来40有余年にわたり、国の文化予算の拡充を求め活動してきた。

平成24年度の特筆すべき事項は、芸術家会議が構成メンバーの一員となっている「文化芸術推進フォーラム」で取り組んだ「文化芸術政策を充実し、国の基本政策に据えることに関する国会請願」が、9月7日第180回通常国会において文化芸術政策に関する国会請願として国会史上はじめて採択されたことが挙げられる。平成23年から同フォーラムを通じて「もっと文化を」キャンペーンを行い、国の文化予算を国家予算の0.1%から0.5%に、という目標を掲げ、署名活動を全国規模で展開した。今回の国会請願採択は、こうした取組の成果といえる。

また芸術家会議では、構成メンバーの約6割がトップレベルの芸術団体として文化庁より特別支援を得ており、芸術家会議の活動は、このトップレベルの芸術団体に対する直接支援の増額を求めているということが中心的課題である。平成24年度には「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」が施行され、平成25年度文化庁予算の中で「劇場・音楽堂等活性化事業」が新規事業として30億円予算化された。一方、トップレベルの舞台芸術団体に対する支援はほぼ前年度並みの31億円となり、文化庁の支援の方向性が単体支援から連携へとシフトしていく方向がみられる中で、芸術家会議としては引き続きトップレベルの芸術団体への直接支援の増額を求める活動を活発化していかなければならない。また前述の「文化芸術推進フォーラム」の一員として、文化省の創設を求める活動を今後さらに積極的に推進していかなければならない。

(5) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

演連のホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

(6) ホームページによる情報発信

ホームページをリニューアルし、日演連ニュース、事業・催事案内、入会案内、著作隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、演奏会チケットのインターネット予約を開始した。

4 助成・奨学活動（応募型）

(1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ（2公演助成）

ソプラノ歌手の増山美知子さんから提供を受けた資金をもとに、35歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助を行なう事業で、24年度は2公演を採択した。（総申請件数 10件）

- ・平成24年10月23日（火）東京文化会館小ホール／瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオ・リサイタル2012～クロード・ドビュッシーの肖像
- ・平成24年11月28日（水）大田区民ホール・アプリコ小ホール／城代さや香デビューCD発売記念ヴァイオリンリサイタル「祈り」

(2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市）の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額5万円）を平成24年度に構築し、募集を行い下記の10名を平成25年度第1回奨学生に決定した。

応募総数 34名

奨学生10名：犬飼まお（ピアノ）、今田篤（ピアノ）、大江馨（ヴァイオリン）、西條智之（バリトン）、谷澤遥（オーボエ）、新見準平（バリトン）、三井静（チェロ）、村元彩夏（ソプラノ）、矢野雄太（ピアノ）、山澤慧（チェロ）

5 啓蒙・啓発活動

(1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について＜後援名義使用申請＞を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 130件 うち承認件数 130件

(2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施した。24年度は3公演のマネジメントを行った。

- ・平成24年4月15日（日）JTアートホール／久保田千裕ピアノ・リサイタル
- ・平成24年9月2日（日）王子ホール／朝岡真木子音のパレットⅡ
- ・平成24年11月5日（月）東京文化会館小ホール／長島剛子・梅本実リートデュオ・リサイタル

(3) ふくしま次代を担う子どもの文化芸術体験事業への協力

文化庁＜平成24年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業—派遣事業＞

＜東日本大震災復興支援対応＞

福島県の要請を受けて、福島県の小学校3校及び幼稚園1園に演奏家を派遣する事業に協力した。

- ・平成24年10月9日（火）福島県西白河郡矢吹町立中畑小学校／池田肇（オーボエ）
- ・平成24年10月10日（水）福島県福島市ほうらい幼稚園／ 同上
- ・平成24年11月15日（木）福島県本宮市立和田小学校／澤田真人（トランペット）
- ・平成24年11月16日（金）福島県耶麻郡猪苗代町立長瀬小学校／ 同上

II その他の事業（相互扶助等事業）

1 会員向け事業

(1) 「山田康子奨励・助成コンサート」（年間6公演以内）

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行なう事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は5公演を助成した。

（総申請件数 19件）

- ・平成 24 年 9 月 17 日（月）浜離宮朝日ホール／樋口紀美子ピアノリサイタル
ドビュッシー生誕 150 年・CD 発売記念
- ・平成 24 年 9 月 24 日（月）東京文化会館小ホール／織田なおみの音楽会 Vol. IV
- ・平成 24 年 10 月 30 日（火）東京文化会館小ホール／飯野明日香 le Parfum de Futur
Vol. 11 一柳慧のピアノ音楽 第二章
- ・平成 24 年 11 月 5 日（月）東京文化会館小ホール／長島剛子・梅本実リートデュオ・
リサイタル 世紀末から 20 世紀へ PartXI シェーンベルク
「月に憑かれたピエロ」誕生 100 年を記念して
- ・平成 24 年 12 月 18 日（火）東京オペラシティ・リサイタルホール／野口龍
Relation' 70 第 1 回演奏会～継承と発展～

(2) 「日本演奏連盟会員名簿」(年 1 回) の発行

B 5 判 130 頁 3,700 部 11 月に全会員に配布。

(3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行なった。

互助給付の最近の実績

(単位：千円)

給付内容	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
入院給付	2,850(34 件)	1,665(23 件)	1,425(18 件)	1,370(16 件)
死亡給付	890(10 件)	840(10 件)	460(6 件)	260(4 件)
健診補助給付	193(66 件)	254(86 件)	212(71 件)	204(69 件)
永年祝金給付	1,044(20 件)	1,302(24 件)	1,434(28 件)	630(12 件)
東日本大震災会費 免除分及び見舞金			2,879(180 件)	
合計	4,977(130 件)	4,061(143 件)	6,410(303 件)	2,464(101 件)

(4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

東京芸能人国民健康保険組合が管理する芸能人国民健康保険への加入の事務取り扱いを行なった。

平成 25 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。() 内は前年実績

- ・芸能人国民健康保険加入者 66 人 (68 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険の事務手続きを行なった。

(5) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。